



季節を知ったら  
暮らしが楽しくなった

（第一二四号）

立春 りっしゅん

二月四日



## 床みがき

人間は日々の習慣によって作られる、という言葉を目にしました。調べてみると、古代ギリシャの哲学者・アリストテレスの言葉でした。「優れた道徳心は習慣からしか生まれません。私たちは、自分たちでつくった習慣のようにしかならないのだ。節制している人は節度のある人となり、勇気ある行動を続けている人は勇敢な人となる」。いかに日々の習慣が大切であるかを指摘しています。

おはらい町通りに面した甘味どころ、五十鈴茶屋は、伊勢の商家をイメージして建てられた日本家屋です。座敷に上がると、景色のすばらしさもさることながら、上がり框から廊下、床の間、石庭までいつも掃除が行き届いているのに感心します。さらいの跡が美しい石庭は毎朝、模様をつけているようで、多いときには一日に五度も直すといわれています。

また底光りする廊下の掃除を女将に聞いてみると、食事処の「とうふや」さんから、大豆を煮た汁、「豆水」をもらって、開店前に皆で床を拭いているとのことでした。もう五年くらいになるようで、段々といいつやが出てきたと教えてくれました。米ぬかで床を磨くと汚れを落とし、つやを出すことは知っていましたが、豆腐を作る際にできる「豆水」も効果があるとは知りませんでした。木のつやは水拭きだけではむしろなくなりませんが、豆水はたんぱく質や脂肪分を含んでいるため、つやを補うわけです。ただし、このつやがでるのは木だけで、ポリウレタン樹脂加工を施したフロアリングには効きません。

床磨きは女将をはじめ、若い女性店員もしているようで、日々の習慣が日本家屋を美しく磨き上げ、さらには店員さんたちの道徳心も高めているのでしょう。

文 千種清美

